

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市大野田老人福祉センター	
2 指定管理者	社会福祉法人仙台市社会福祉協議会	
3 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和4年度 27,933人（前年度比 149.0%） 令和3年度 18,752人（前年度比 128.5%） 令和2年度 14,590人（前年度比 42.3%）	
	《事業》 市内に住所を有する60歳以上の高齢者に対し、各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する。	
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 28,738千円 (28,128千円) ・ その他市が負担した費用 869千円 (0千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 令和5年2月に利用者アンケートを実施した。また、管理運営委員会、地域委員会、センター独自アンケート等を実施した。	

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	老人福祉センターの設置目的を踏まえた基本方針に基づき施設運営がなされており、職員も設置目的を適切に理解している。 また、利用者の健康づくりや、公平・公正な利用、高齢者の特性を理解したうえで心身への配慮に努めるなど、利用者本位の施設運営を行っている。	33/33
II 施設の運営管理体制	必要数の職員が配置されており、職員間では円滑な連携が図られ、適切に運営されている。経理書類も適正に作成されている。 また、個人情報の漏洩や滅失を防止するため、管理責任者を定め職員への周知等の意識啓発を行うなど、個人情報保護に対する体制を整えている。 事故や災害の発生に備え、対応マニュアルの策定、連絡体制の構築、併設の児童館やコミュニティ・センターとの合同防災訓練等の取り組みを行っている。	24/24
III 施設・設備の維持管理	利用者の安全・安心・快適な利用を維持するため、施設内外の清掃を適切に行い、事故防止のための館内巡回も行われている。 また、節電やごみ発生の抑制、グリーン購入を実施するなど、環境に配慮した施設運営を行っている。	24/24
IV サービスの質の向上	利用者が気持ちよく利用できるよう、丁寧な対応と分かりやすい説明を心がけている。また、毎月のセンターだより発行など、利用者への情報提供や施設のPRも積極的に行っている。 さらに、利用者の意見や苦情に対し、その対応手順や担当者を明確にするとともに、市が実施する利用者アンケートの他にも独自アンケートを実施してニーズを把握するなど、利用者の意見を反映した施設運営に意欲的に取り組んでいる。	28/28
V 施設固有の基準	高齢者が自ら学んだことを発表する機会の設定を積極的に行なっており、利用者の主体的な企画実施に対する支援も行っている。 また、利用者の代表者や地域で構成する委員会を開催し、利用者が施設運営に関わる仕組みづくりを推進しており、利用者意見を取り入れた企画の立案を行っている。	12/9

三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人仙台市社会福祉協議会）による自己評価》
<p>当該年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のための、消毒、換気並びに利用者への感染予防の職員による呼びかけ及び掲示を継続して実施した。入浴・講座や各行事に関しても、3密を避けるため、利用者の皆様の御理解と御協力を頂きながら人数制限を継続した。このように、利用者の皆様に、感染予防対策に真摯に取り組んでいる施設である、という安心感を持って頂けたことにより、利用者数も回復してきたものと考えている。</p> <p>また、看護師が利用者に対し積極的な声かけを行うことにより、健康相談の件数は当該年度も引き続き増えており、看護師をより身近に感じて頂ける、気軽に相談できる場所として活用されている。</p> <p>60歳代～70歳代の利用者の増加に向けては引き続き取り組んでおり、実数としては増加したものの全体の増加割合に比してはそれほどではなくこれからも取り組んでいく必要があるものと考えている。この世代の利用者の増加を含め、全体的な利用者の増加を図るために、いろいろな楽器による演奏会、映像を活用した歌の会、東北文化学園大学の出前講座、ファイナンシャルプランナーによる終活セミナーなど、現在関心の高い問題に視点を置いた行事を行ったこともまた、利用者の回復につながった要因と考えている。</p> <p>今後とも、ウィズコロナを常に念頭に置きながらも、フレイル予防、認知症予防等利用者の関心が高いニーズに可能な限り応えていけるよう、日頃からコミュニケーションをとって、さらなる施設利用の拡大を図っていくことが重要であると考えている。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和4年度の管理運営について、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われた。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のための、消毒、換気並びに利用者への感染予防の職員による呼びかけ及び掲示を継続して実施し、高齢者の不安等に対応するため、看護師が利用者に対し積極的な声かけを行っている。健康相談の件数は当該年度も引き続き増えており、看護師をより身近に感じて頂ける、気軽に相談できる場所として活用されている。</p> <p>全体的な利用者の増加を図るために、いろいろな楽器による演奏会、映像を活用した歌の会、東北文化学園大学の出前講座、ファイナンシャルプランナーによる終活セミナーなど、現在関心の高い問題に視点を置いた行事を積極的に行っていることも評価できる。</p> <p>また、ウィズコロナを常に念頭に置きながらも、フレイル予防、認知症予防等利用者の関心が高いニーズに応えていけるよう、アンケートや日常的な意見交換の中から得た利用者の意見に柔軟に対応して様々な事業に取り組んでおり、総合的に高く評価できる。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

© 評価担当課(施設所管課):健康福祉局保険高齢部高齢企画課